

経営比較分析表（令和2年度決算）

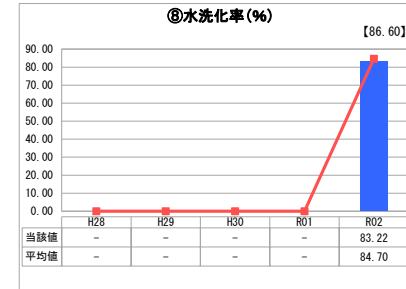
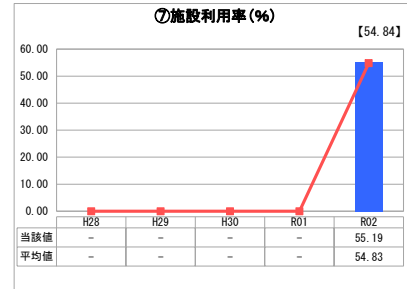
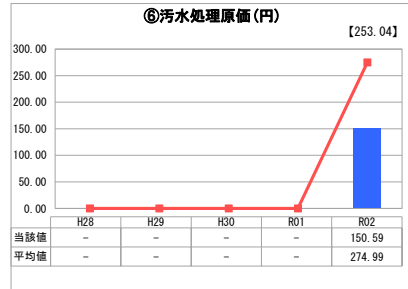
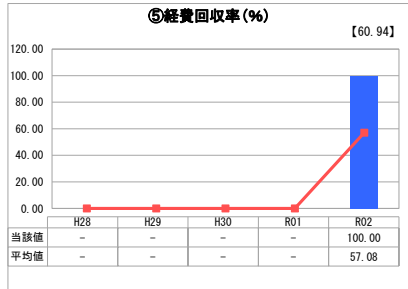
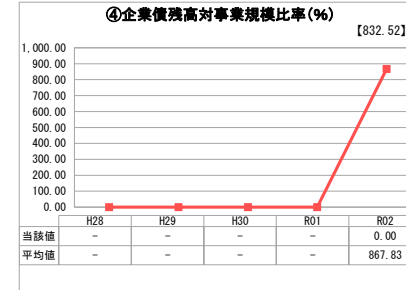
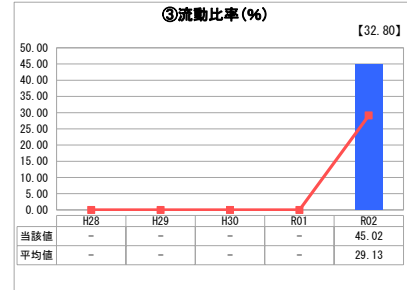
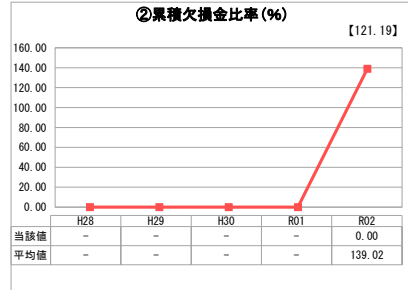
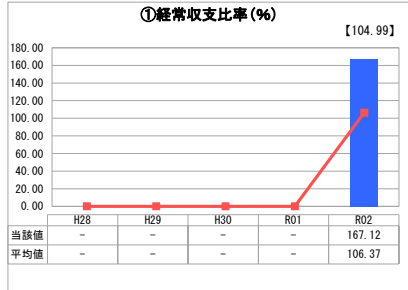
栃木県 矢板市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	74.50	2.86	70.79	2,700

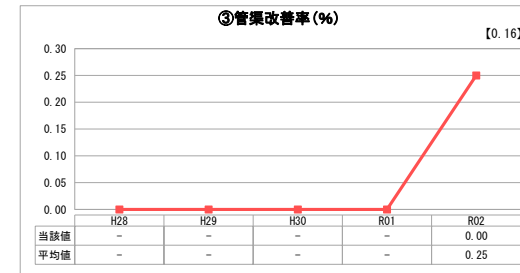
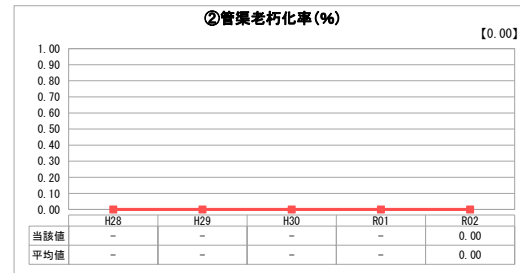
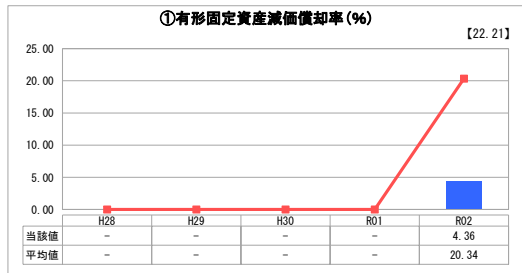
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,719	170.46	186.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
906	0.68	1,332.35

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、類似団体平均値と比較するとかなり高いため、更なる義務的経費削減を図る。
 ② 算式に用いられ流動負債のうち、殆どが企業債であるため、一概には言えないが、企業債の縮減に努める。
 ③ 汚水処理原価は、類似団体平均値と比較すると低いものとなっているが、接続率はまだ高いと言えず、今後老朽化による維持管理費の増大が見込まれることから、水洗化率向上に向けた施策が必要である。
 ④ 施設の利用率は、全国平均及び類似団体と比較し同程度であるが、処理区域内人口も増えていないことから利用率向上は難しいが、引き続き接続率向上に努める。
 ⑤ 水洗化率は、全国平均及び類似団体平均と比較して低いものとなっているため、今後も普及啓発活動等を推進する必要がある。

2. 老朽化の状況について

比較的新しい施設であるため、管渠の更新はまだ必要ないが、水処理センターの不具合はだんだん増えてきている。施設調査等を実施し、更新計画を立て計画的に対応していく必要がある。

全体総括

経営は、人口減少による使用料収入の減少や、施設の老朽化による費用負担の増加が今後の課題と考える。
 令和2年度からは、公営企業法適用により柔軟な経営が行えるようになったが、経営戦略の見直し等を行い、更なる経費の削減、接続者の増加、使用料の改定等(令和3年4月改定)により財源の確保に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。